

## 令和5年度(2023年度) 建築物環境配慮制度(CASBEE 札幌)届出状況のまとめ

札幌市では、環境に配慮した建築物の推進を目的に建築物環境配慮制度を条例で定めています。この資料は、令和5年度(2023年度)に届出のあった、CASBEE 札幌による自己評価の結果をまとめたものです。

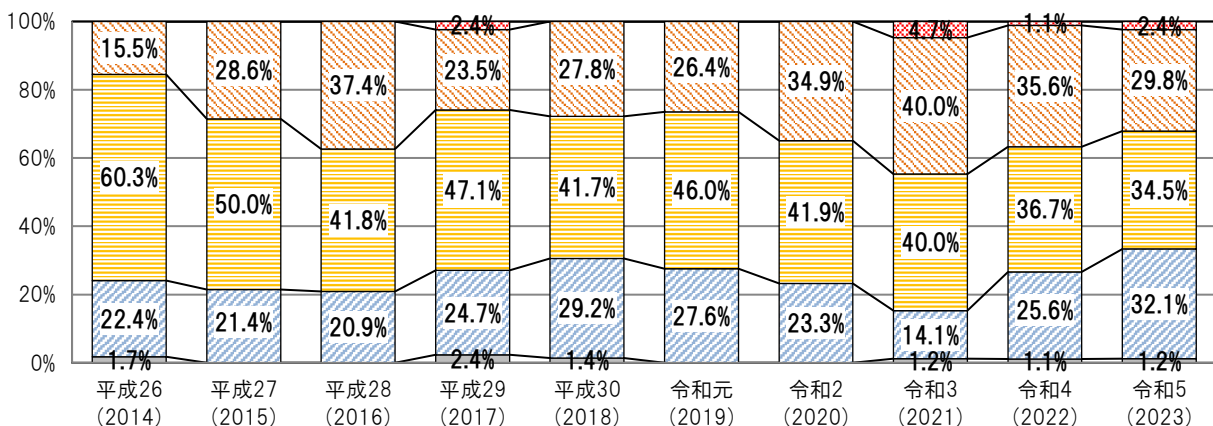
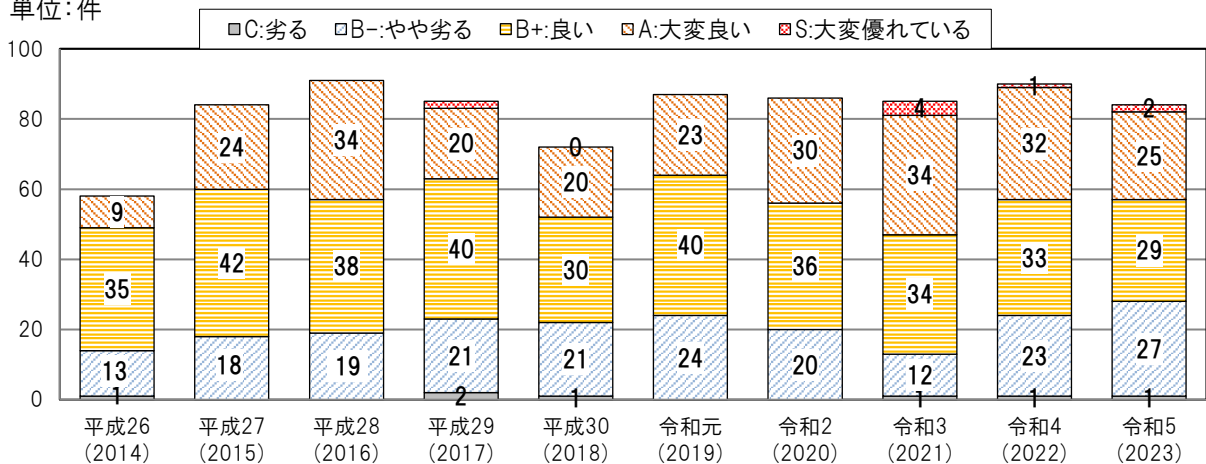
### 1 令和5年度(2023年度)の届出の概要

- ・ 届出数は84件あり、前年度より6件減少しましたが、ほぼ平年並みの件数となりました。
- ・ ランクS(大変優れている)は、2件の届出がありました。ランクA(大変良い)は25件となり、ランクA以上の比率は32.1%となり、令和4年度の36.6%と比べると低い結果となりました。
- ・ ランクC(劣る)は、昨年同様1件の届出がありました。

単位:件

年度	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)
S:大変優れている	0	0	0	2	0	0	0	4	1	2
A:大変良い	9	24	34	20	20	23	30	34	32	25
B+:良い	35	42	38	40	30	40	36	34	33	29
B-:やや劣る	13	18	19	21	21	24	20	12	23	27
C:劣る	1	0	0	2	1	0	0	1	1	1
合計	58	84	91	85	72	87	86	85	90	84

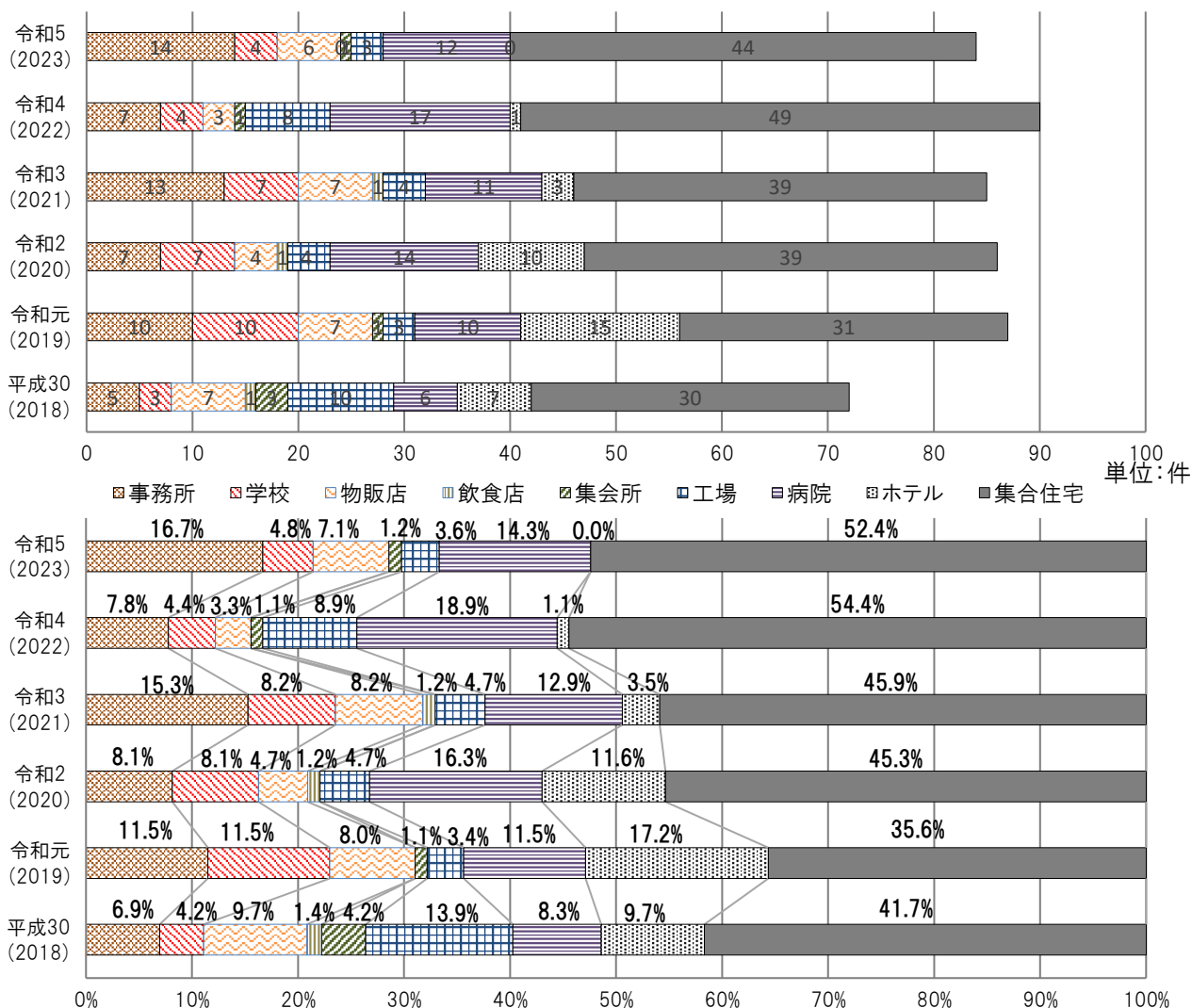
単位:件



## 2 建築物用途別の申請数の推移

- ・ 用途別では、集合住宅が 44 件と最も多く、次いで事務所の 14 件、病院が 12 件でした。
- ・ 令和 4 度は 7 件の届出があった事務所は 7 件増加し、14 件の届出となりました。
- ・ ホテルは令和元年度をピークに減少し、令和 5 年度は 0 件の届出となりました。

年度	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)
事務所	5	10	7	13	7	14
学校	3	10	7	7	4	4
物販店	7	7	4	7	3	6
飲食店	1	0	1	1	0	0
集会所	3	1	0	0	1	1
工場	10	3	4	4	8	3
病院	6	10	14	11	17	12
ホテル	7	15	10	3	1	0
集合住宅	30	31	39	39	49	44
合計	72	87	86	85	90	84



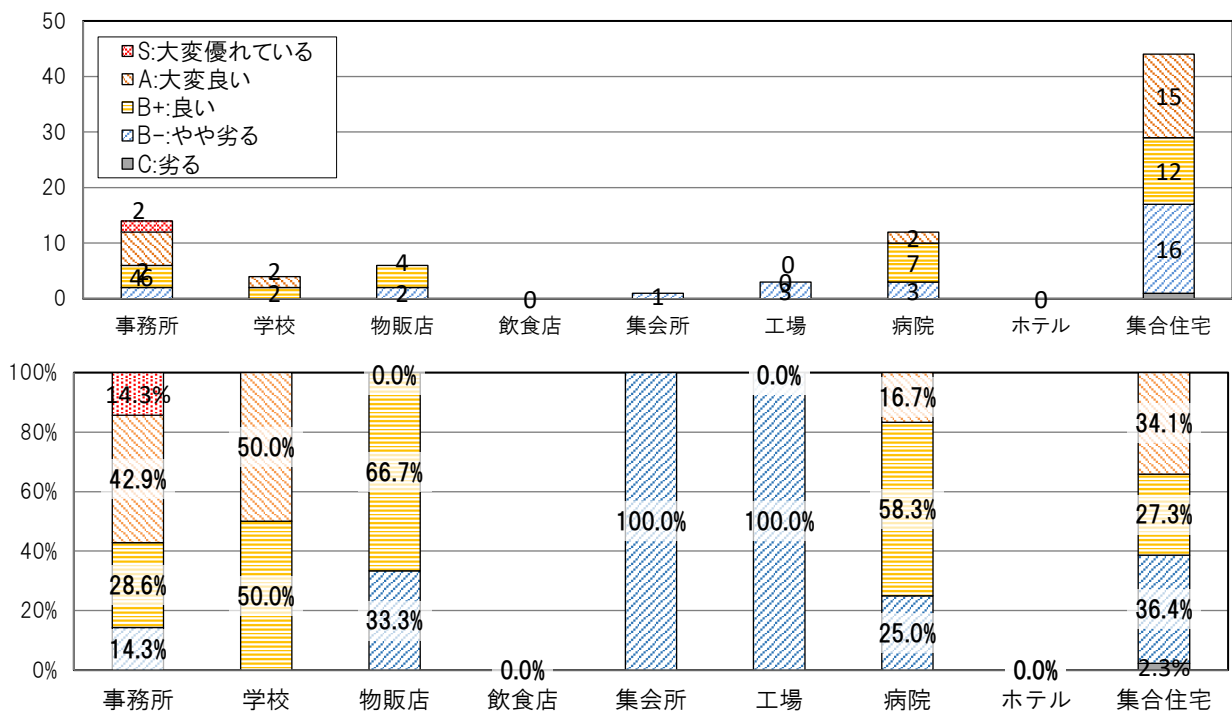
### 3 建物用途別のランクの変化

- ・ 事務所は、S ランクの届出が 2 件、A ランクの届出が 6 件となり、A ランク以上の比率が 57%となり前年度と比較し10ポイント以上向上しました。
- ・ 病院は B+ランク以上の届出の比率が 75%となり昨年度の 88%より低い結果となりました。
- ・ 集合住宅は昨年度と比較し、A ランクの比率が下がり、B+ランク以上の比率が 61.4%と 14 ポイント下がった結果となりました。

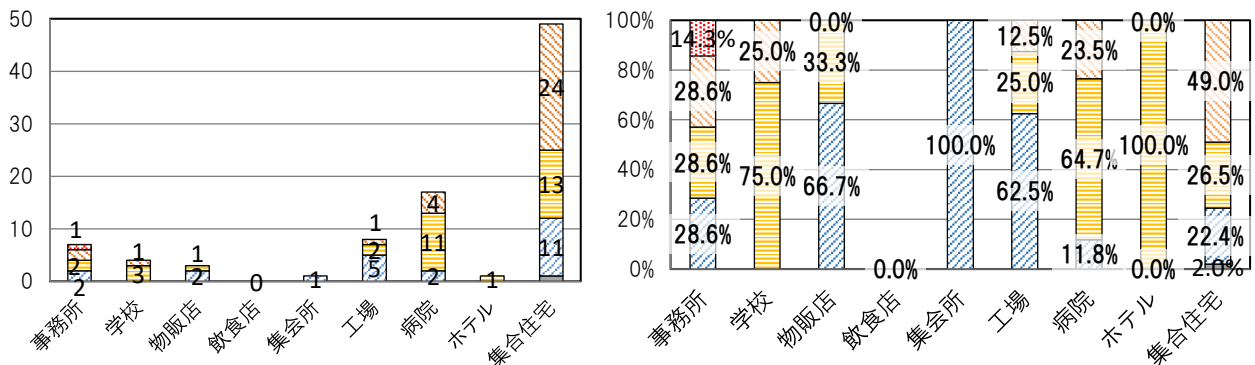
単位:件

ランク	S:大変優れている	A:大変良い	B+:良い	B-:やや劣る	C:劣る	合計	
事務所	2	6	4	2	0	14	16.7%
学校	0	2	2	0	0	4	4.8%
物販店	0	0	4	2	0	6	7.1%
飲食店	0	0	0	0	0	0	0.0%
集会所	0	0	0	1	0	1	1.2%
工場	0	0	0	3	0	3	3.6%
病院	0	2	7	3	0	12	14.3%
ホテル	0	0	0	0	0	0	0.0%
集合住宅	0	15	12	16	1	44	52.4%
合計	2	25	29	27	1	84	100.0%

単位:件



(参考)令和 4 年度(2022 年度)の結果



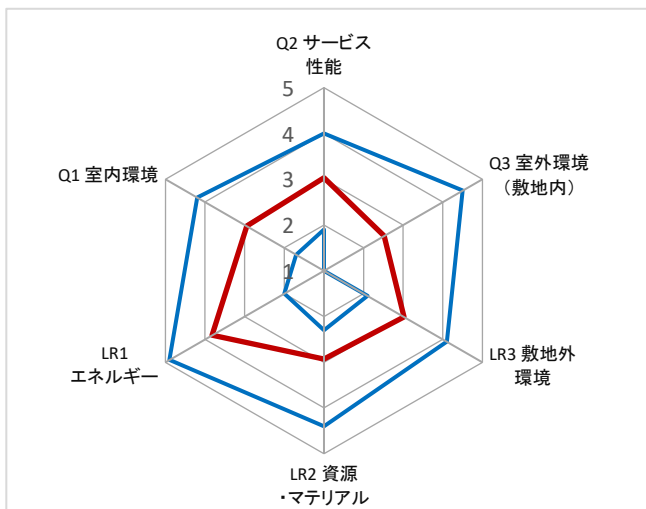
#### 4 配慮項目(大項目)での分析

CASBEE 札幌では、下記の表に示す 6 つの配慮項目による評価をしており、評価点は 3 を標準に 1 から 5 までの 5 段階で、評価点が大きいほど項目の評価が高いことを示しています。

下記のグラフ・表は昨年度申請のあった建物について、各項目の平均点及び最低点、最高点を示したものです。

##### 【概要】

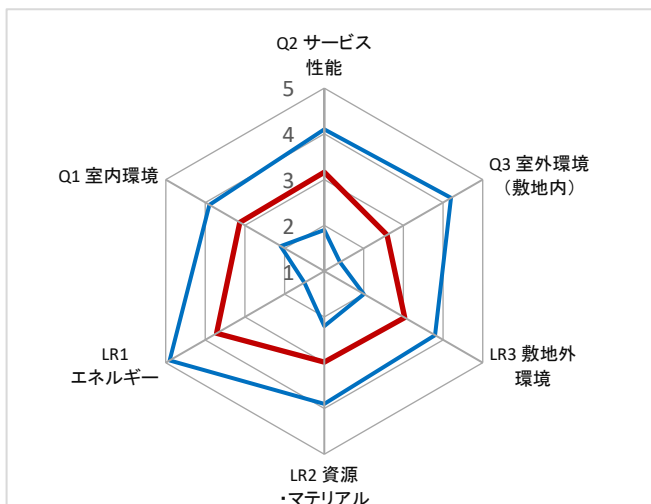
- 全体の平均は、LR1 を除き、昨年度よりも 0.01~0.13 ポイント低い結果となった。
- LR1 エネルギーは、昨年度と同様に平均 3.82 とほかの項目より高く、BEI の平均は 0.03 ポイント向上した。



	平均	最低	最高
BEI	0.77	1.04	0.40

全体 件数:84

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.95	1.70	4.20
Q2 サービス性能	3.03	1.90	4.00
Q3 室外環境(敷地内)	2.52	1.00	4.50
LR1 エネルギー	3.82	2.00	4.90
LR2 資源・マテリアル	2.93	2.30	4.40
LR3 敷地外環境	3.02	2.10	4.10



	平均	最低	最高
BEI	0.80	1.27	0.39

全体 件数:90

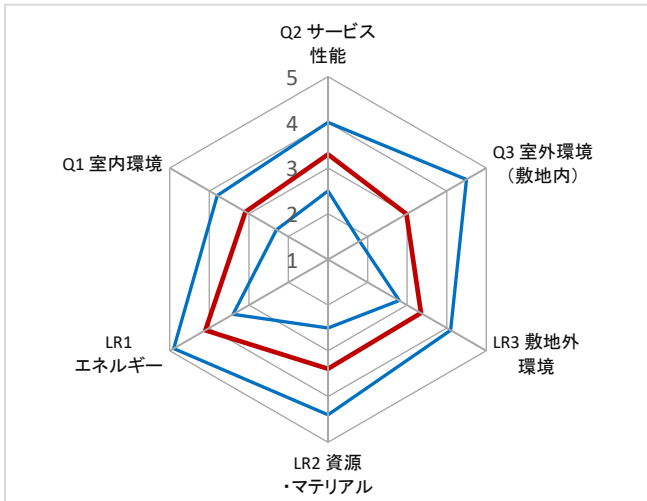
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.13	2.10	3.90
Q2 サービス性能	3.16	1.90	4.10
Q3 室外環境(敷地内)	2.59	1.40	4.20
LR1 エネルギー	3.72	1.50	4.90
LR2 資源・マテリアル	2.99	2.20	3.90
LR3 敷地外環境	3.03	2.00	3.80

(参考)令和 4 年度(2022 年度)の結果

最大:青線 平均:赤線

**[事務所]**

- ・ 配慮項目のすべてで全年度と同等以上のスコアとなった。
- ・ BEIについて、14件中の4件がZEB readyの基準を満たしており、平均で0.62と学校と並んで全用途で最も良い結果となった。

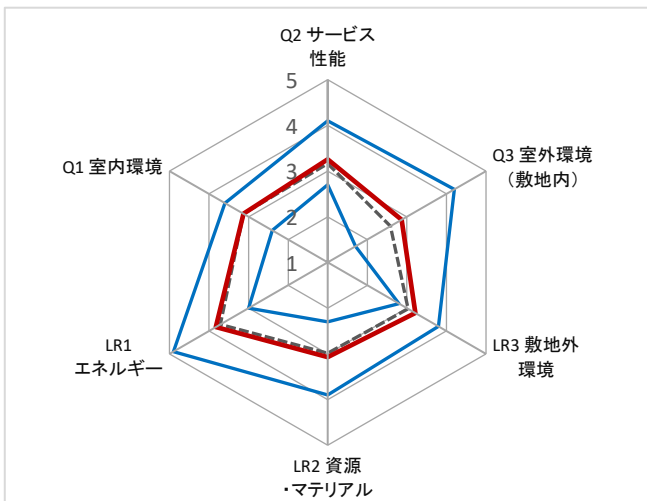


事務所 件数:14

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.13	2.30	4.20
Q2 サービス性能	3.30	2.50	4.00
Q3 室外環境 (敷地内)	2.99	1.80	4.50
LR1 エネルギー	4.10	3.40	4.90
LR2 資源・マテリアル	3.39	2.50	4.40
LR3 敷地外環境	3.35	2.80	4.10

	平均	最低	最高
BEI	0.62	0.79	0.40

(参考)令和4年度(2022年度)の結果



事務所 件数:7

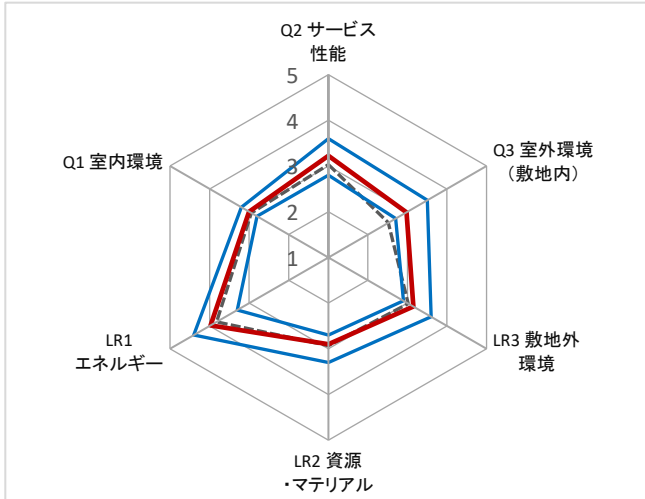
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.13	2.40	3.60
Q2 サービス性能	3.26	2.70	4.10
Q3 室外環境 (敷地内)	2.87	1.70	4.20
LR1 エネルギー	3.83	3.00	4.90
LR2 資源・マテリアル	3.07	2.30	3.90
LR3 敷地外環境	3.21	2.80	3.80

	平均	最低	最高
BEI	0.69	0.89	0.45

最大:青線 最低:赤線 平均:点線:全体の平均

**[学校]**

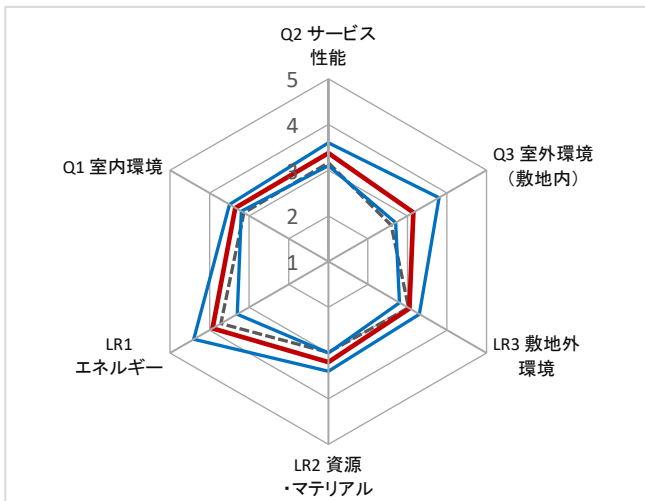
- ・ 配慮項目は全体的に前年度より低いスコアになったが、LR1 エネルギーについては、昨年度より平均が 0.05 ポイント向上し、BEI は平均で 0.62 と事務所と並んで全用途で最も良い結果となった。
- ・ また、BEI で1件が ZEB ready の基準を満たしている結果となった。



学校		件数:4		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	3.00	2.80	3.20
Q2	サービス性能	3.23	2.80	3.60
Q3	室外環境 (敷地内)	2.98	2.70	3.50
LR1	エネルギー	3.98	3.30	4.40
LR2	資源 ・マテリアル	2.90	2.70	3.30
LR3	敷地外環境	3.15	2.90	3.60

	平均	最低	最高
BEI	0.62	0.76	0.50

(参考)令和 4 年度(2022 年度)の結果



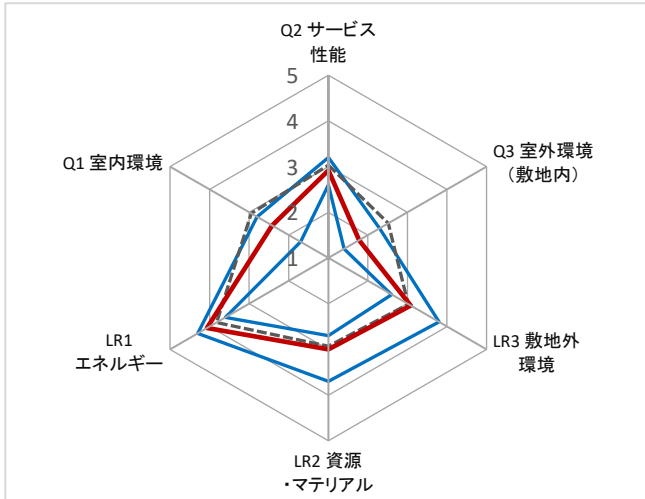
学校		件数:4		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	3.35	3.20	3.50
Q2	サービス性能	3.38	3.10	3.60
Q3	室外環境 (敷地内)	3.15	2.70	3.80
LR1	エネルギー	3.93	3.30	4.40
LR2	資源 ・マテリアル	3.20	3.00	3.40
LR3	敷地外環境	3.05	2.80	3.30

	平均	最低	最高
BEI	0.64	0.75	0.52

最大:青線 平均:赤線 点線:全体の平均

**[物販店]**

- ・ 配慮項目平均について、Q1～3は前年度より低下し、LR1～3は向上している。
- ・ Q3 室外環境(敷地内)の平均が全体平均より大幅に低くなっている。
- ・ BEIについて、平均で0.13ポイント向上している。

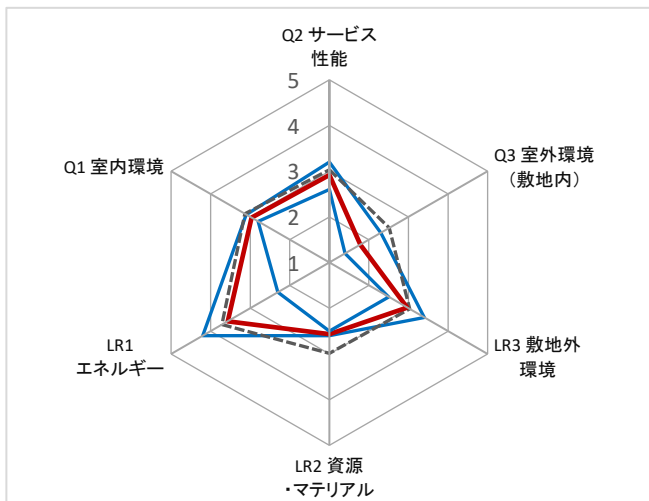


物販店 件数:6

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.42	1.70	2.80
Q2 サービス性能	2.92	2.60	3.20
Q3 室外環境(敷地内)	1.78	1.40	2.30
LR1 エネルギー	4.07	3.60	4.30
LR2 資源・マテリアル	3.00	2.70	3.70
LR3 敷地外環境	3.08	2.60	3.80

	平均	最低	最高
BEI	0.63	0.72	0.56

(参考)令和4年度(2022年度)の結果



物販店 件数:3

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.97	2.80	3.10
Q2 サービス性能	3.13	2.90	3.30
Q3 室外環境(敷地内)	1.80	1.70	1.90
LR1 エネルギー	3.57	2.30	4.20
LR2 資源・マテリアル	2.57	2.50	2.60
LR3 敷地外環境	2.97	2.50	3.40

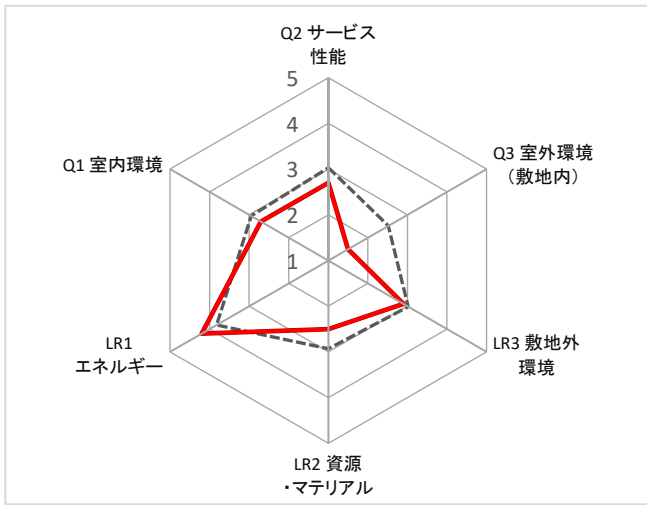
	平均	最低	最高
BEI	0.76	0.93	0.62

最大:青線 最低:青線 平均:赤線 点線:全体の平均



**[集会所]**

- ・ LR1 を除く全ての配慮項目で全体平均を下回る結果となった。



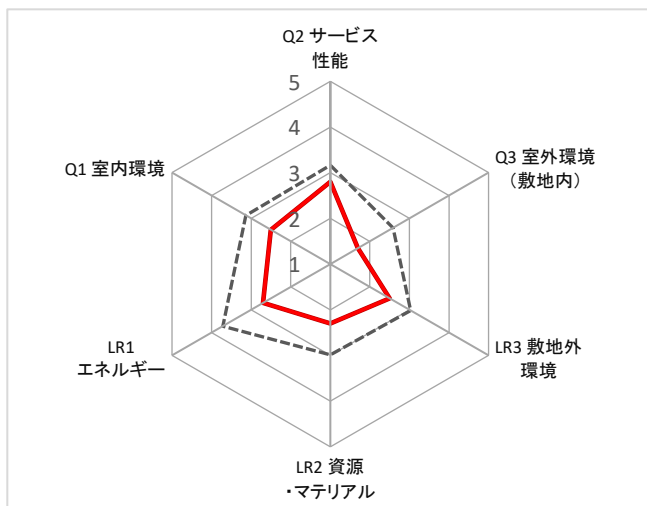
集会所 件数:1

配慮項目	スコア
Q1 室内環境	2.70
Q2 サービス性能	2.70
Q3 室外環境 (敷地内)	1.50
LR1 エネルギー	4.20
LR2 資源・マテリアル	2.50
LR3 敷地外環境	2.90

BEI 0.72

届出物件:赤線 点線:全体の平均

(参考)令和 4 年度(2022 年度)の結果



集会所 件数:1

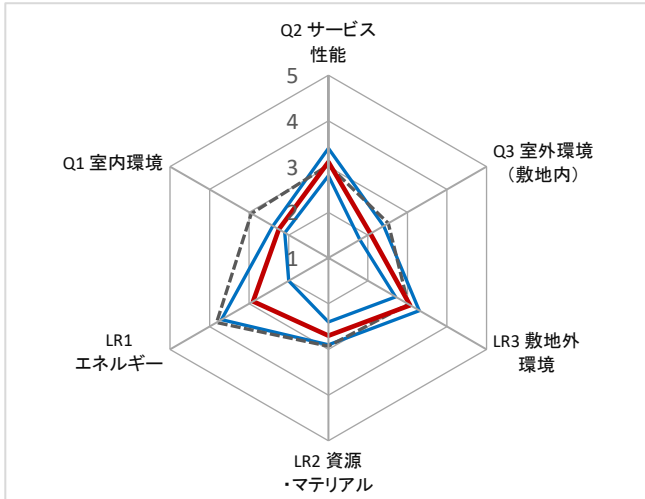
配慮項目	スコア
Q1 室内環境	2.50
Q2 サービス性能	2.80
Q3 室外環境 (敷地内)	1.70
LR1 エネルギー	2.70
LR2 資源・マテリアル	2.30
LR3 敷地外環境	2.50

BEI 0.85



**[工場]**

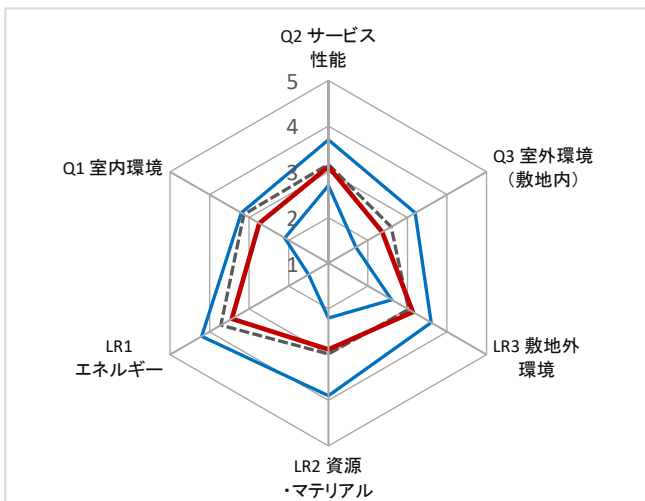
- ・ 昨年度と比較すると、Q1 を除く全ての配慮項目の平均でポイントが低下し、配慮項目ごとの平均は全用途と同等か下回るスコアとなった。



工場		件数:3		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.25	2.10	2.40
Q2	サービス性能	3.10	2.80	3.40
Q3	室外環境 (敷地内)	2.07	1.80	2.40
LR1	エネルギー	2.90	2.00	3.70
LR2	資源 ・マテリアル	2.70	2.40	2.90
LR3	敷地外環境	3.07	2.70	3.30

	平均	最低	最高
BEI	0.77	0.85	0.69

(参考)令和 4 年度(2022 年度)の結果



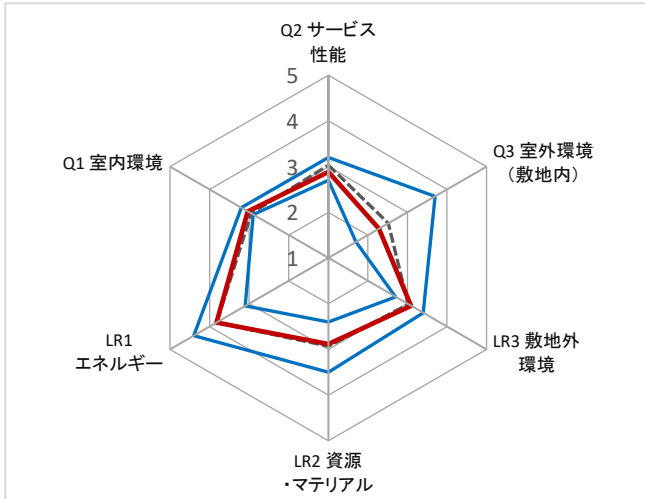
工場		件数:8		
配慮項目		平均	最低	最高
Q1	室内環境	2.74	2.10	3.20
Q2	サービス性能	3.11	2.70	3.70
Q3	室外環境 (敷地内)	2.36	1.70	3.20
LR1	エネルギー	3.44	1.50	4.20
LR2	資源 ・マテリアル	2.89	2.20	3.90
LR3	敷地外環境	3.14	2.60	3.60

	平均	最低	最高
BEI	0.66	1.10	0.39

最大:青線 最低:赤線 平均:赤線 点線:全体の平均

**[病院]**

- Q1 室内環境と LR1 エネルギーと LR2 敷資・マテリアルについては、昨年度と比較し 0.1～0.14 ポイント向上しているが、その他の項目については、0.01～0.59 ポイント低下している。
- BEIについては、昨年度と比較し、平均が 0.02 ポイント低下している。

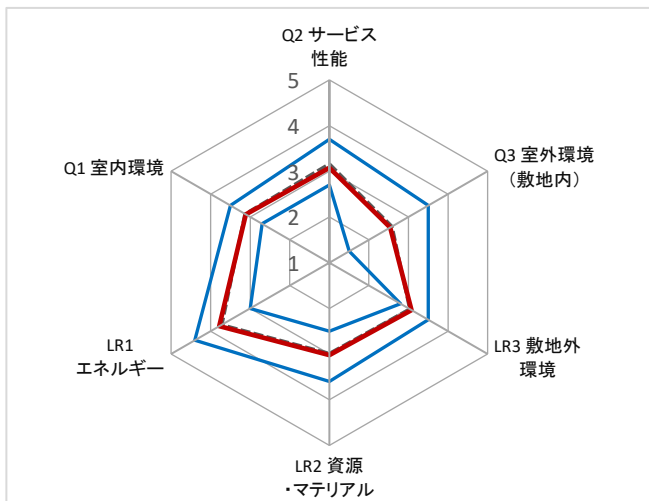


病院 件数:12

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.03	2.90	3.20
Q2 サービス性能	2.88	2.70	3.20
Q3 室外環境 (敷地内)	2.28	1.70	3.70
LR1 エネルギー	3.83	3.10	4.40
LR2 資源・マテリアル	2.88	2.40	3.50
LR3 敷地外環境	3.09	2.70	3.40

	平均	最低	最高
BEI	0.75	0.83	0.67

(参考)令和4年度(2022年度)の結果



病院 件数:17

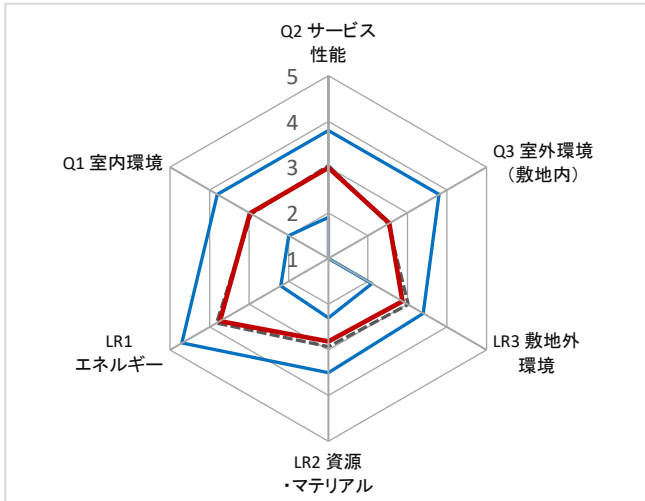
配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.11	2.70	3.50
Q2 サービス性能	3.08	2.70	3.70
Q3 室外環境 (敷地内)	2.54	1.50	3.50
LR1 エネルギー	3.78	3.00	4.40
LR2 資源・マテリアル	3.02	2.50	3.60
LR3 敷地外環境	3.08	2.80	3.50

	平均	最低	最高
BEI	0.76	0.93	0.65

最大:青線 最低:赤線 平均:点線 点線:全体の平均

**[集合住宅]**

- Q2 サービス性能、Q3 室外環境(敷地内)を除く配慮項目で、昨年度と比較し、0.01~0.05 ポイント向上している。
- BEI の平均は前年度と同等となったが、17 件が ZEH-M oriented 相当であった。

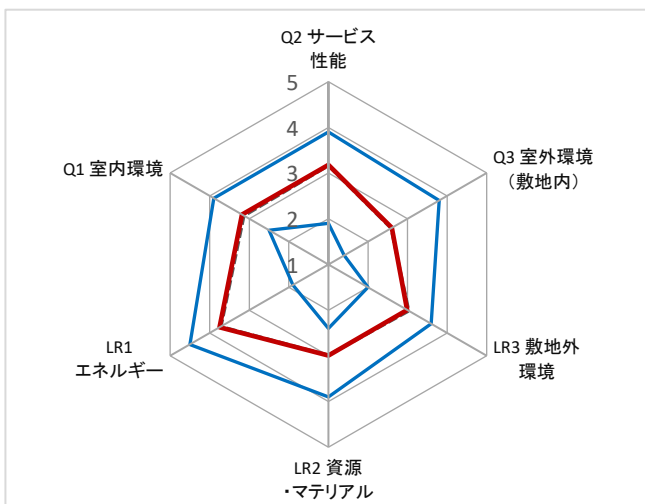


集合住宅 件数:44

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	2.98	2.00	3.80
Q2 サービス性能	2.99	1.90	3.80
Q3 室外環境(敷地内)	2.54	1.00	3.80
LR1 エネルギー	3.74	2.20	4.70
LR2 資源・マテリアル	2.82	2.30	3.50
LR3 敷地外環境	2.88	2.10	3.40

	平均	最低	最高
BEI	0.86	1.04	0.69

(参考)令和 4 年度(2022 年度)の結果



集合住宅 件数:49

配慮項目	平均	最低	最高
Q1 室内環境	3.18	2.50	3.90
Q2 サービス性能	3.18	1.90	3.90
Q3 室外環境(敷地内)	2.60	1.40	3.80
LR1 エネルギー	3.75	1.90	4.50
LR2 資源・マテリアル	2.99	2.40	3.90
LR3 敷地外環境	2.99	2.00	3.60

	平均	最低	最高
BEI	0.86	1.27	0.64

最大・最低:青線 平均:赤線 点線:全体の平均

(参考)

#### 配慮項目について

Q1 室内環境	建物内の騒音レベルや断熱性能、自然光の利用や明るさの制御、室内空気を良好に保つための換気など、居住者の健康、快適性、知的生産性に大きな影響を与える室内環境についての評価
Q2 サービス性能	建物の執務スペースの広さやバリアフリー対応、耐震性や部材の耐用年数、建物内の設備の更新のしやすさや空間のゆとりなど、建物内の利用者の活動や知的生産性への影響、また建物が永く良い状態で使い続けるための機能性の評価
Q3 室外環境 (敷地内)	建物周囲の緑化確保などや野生生物の生息・創出するための取組、地域のまちなみや景観に対する配慮、集雪場の確保や建築設備の排熱の配慮など、敷地内の屋外環境及び周辺環境に関する環境品質の向上に関する取組の評価
LR1 エネルギー	建物の断熱などの冷暖房の使用エネルギー量の削減の取組、昼光利用などの自然エネルギーの利用、冷暖房設備などの高効率化、エネルギー使用量の計測や運用管理体制などの建物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させる取組の評価
LR2 資源 ・マテリアル	節水や雨水利用などの取組、建築材料の削減やリサイクル材の使用などの取組、環境に配慮した断熱材(発泡剤)及び冷媒の使用など、建物の建設から解体までのライフサイクルにおける資源・マテリアル消費の低減、及び環境負荷削減へ向けた取組の評価
LR3 敷地外環境	建物の建設・運用・解体で発生する CO2(ライフサイクル CO2)抑制の取り組み、ヒートアイランド化の抑制対策、騒音・振動や光害の対策など、建物及び敷地内から発生する環境負荷が、敷地境界を越えて地球環境、地域環境、周辺環境に及ぼす影響を低減するための取組の評価

#### BEI について

BEI とは、その地域で標準的に建てた場合のエネルギー消費量(基準一次エネルギー消費量)に比べ、どのくらい設計した対象の建築物のエネルギー消費量(設計一次エネルギー消費量)が省エネになっているかを示す値で、1 を標準として、より数字が小さいほど省エネということになります。

$$BEI = \text{設計一次エネルギー消費量} / \text{基準一次エネルギー消費量}$$